

## 第 7 次埼玉県保健医療計画に基づく病院整備計画の整備計画報告書

- 1 病院名：社会医療法人社団 堀ノ内病院
- 2 所在地（開設予定地）：埼玉県新座市堀ノ内 2-9-31
- 3 整備計画（増床）病床数： 10 床  
（医療機能別内訳：地域包括ケア 10 床）
- 4 スケジュール

	項 目	完了（予定）年月
1	開設（変更）許可（医療法）	平成 31 年 4 月
2	建築（着工）	平成 年 月
3	建築（竣工）	平成 年 月
4	医療従事者の確保	平成 年 月
5	使用許可（医療法）	平成 31 年 4 月
6	開設（増床）	平成 31 年 4 月

## 5 整備方針、目標

○地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能

□当院は、地域医療構想踏まえて当院での医療介護体制の構築を図っている。

◇地域包括ケア病床の拡大と充実（在宅復帰の推進）

- ・容体の安定した患者を一般病床から受入して在宅へ復帰の促進を図る。
- ・地域施設連携・在宅移行に伴うフォロー対応として地域包括ケア病床を活用。

◇訪問診療拡充と訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所との連携強化（在宅復帰後の医療介護の充実）。

○新たに担う役割

□今回の増床で急性期病床・在宅・施設からの受入拡大と地域施設連携・在宅移行の推進（在宅復帰・復帰後の医療介護の充実、実現の活性化）を行う。

◇急性期病床から自宅への復帰在宅復帰移行推進体制の整備

◇在宅からのレスパイト・施設からの受入可能枠の拡大による緊急時受入体制整備により安定したフォローアップ体制の整備

○将来の方向性

医療と介護が一体となった当院としての地域包括ケアシステムを構築

（在宅復帰の推進と在宅での医療看護体制の充実に向けて院内での多職種連携と共に他施設との連携、他施設を巻き込んだ多職種連携を実現する。

◇地域包括ケア病床の活用で当該地域における在宅医療推進対応、

◇急性期と自宅をつなげる回復期病床の活用で安定した医療・介護一体化を推進

◇現在実施中の訪問診療・訪問看護・訪問歯科・訪問リハ・に加えて栄養指導・

薬剤師院内間での多職種連携に加え、地域他施設職員と協働する体制に繋がって行きたい。

○現在の体制で対応できていない患者と今後の見込み

□現状病床 189 床（内地域包括ケア病床 24 床）で、入床率が 95%と救急車の受入れを始めとして、在宅・施設からの受入に苦慮している状況。

また病床の余力がない事で在宅移行を進めていくうえで、いざという場合のバックアップが担保され難いとの懸念が有った。

□今回の増床分で、急性期で治療が一段落した患者の退院をサポートしていくための病床としての機能と共に、施設・在宅からの本格的な治療処置等を要しない患者の受け入れに活用で退院

病床に余力のない状況は「一旦退院すると入院できなくなるのではないかと、在宅移行検討の制約的要因となる懸念を今回の増床で緩和させる。

【増床病棟】（※有床診療所についても準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
2号棟3階病棟	38床	回復期		
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	地域包括ケア入院医療管理料 1	
診療科				
内科、胃腸内科、神経内科、内科（循環器）、外科、整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科、こう門科				
患者の受入見込み				
（※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入してください。）				
【増床前】290名/年（総入床者数）		【増床後】計画 470名		
<ul style="list-style-type: none"> <li>当病院内から 250人 (86%)</li> <li>※他病院施設から一旦急性期病床で受入した人数 50人を含む。訪問診療から一旦急性期病床で受入した人数 27名も含む。</li> <li>自宅から年間 7人 (2%) (内訪問診療 4人)</li> <li>施設等から年間 30人 (10%)</li> <li>他の病院から 3人 (1%)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>当病院内から年間 345人 (73%)</li> <li>※他病院施設から一旦急性期病床で受入する人数 150人を含む。訪問診療から一旦急性期病床で受入する人数 40名も含む。</li> <li>自宅から年間 35人 (7%) (内訪問診療 20人)</li> <li>施設等から年間 60人 (13%)</li> <li>他の病院から 30人 (7%)</li> </ul>		

**医療（介護）連携見込み**

（※具体的に記入してください。）

**【増床前】**

○病院 埼玉病院、帝京大学病院、埼玉医科大学病院、新座志木中央総合病院、複十字病院、防衛医科大学校病院、順天堂大学附属練馬病院、埼玉医大総合医療センター、埼玉医大国際医療センター、杏林大学病院、公立昭和病院、東京女子医大病院、日大板橋病院、保谷厚生病院、新座病院、大泉病院、清瀬富士見病院、久留米ヶ丘病院、多摩あおば病院、陽和病院、等

○施設 特養：みかんの里、菜々の里 殿山喜寿苑、光陽苑、そら一れ新座、保谷苑、みどりの丘、マザアス東久留米、やすらぎの里大泉、等 他：イリーゼ新座、サニーライフ、ベストライフ、学研ココファン新座石神、そんぼの家ひばりヶ丘、なごやかレジデンス新座中央、プラチナシニアホーム西東京ひばりヶ丘、グループホームそよ風、第3光陽苑いずみ、他

**【増床後】**

○病院 国立国際医療研究センター病院、東京病院、東京警察病院、東京大学病院、東京都健康長寿医療センター、東京山手メディカルセンター、練馬光が丘病院、武蔵野総合クリニック、多摩総合医療センター、TMG あさか医療センター、菅野病院、和光病院、等 地域内クリニック病院からの受け入れ

○施設 特養：チェリーヒルズ新座、こぐれの里、シャローム東久留米、清雅苑、千寿里、練馬さくらの杜、ひばりヶ丘ふれあいの里、やすらぎミラージュ、よつばあたご苑、等 他：アシステッドリビング練馬、あすなろ大泉学園、ウェルケアテラス新座、紀水苑、グランダ、高齢者ホームあすなろ、志木ナーシングホーム、ニチイホーム、未来倶楽部大泉学園、めいと新座志木、リアンレヴ大泉学園、フローラ菜の花、メディカルホームふじみ野、リーシェガーデン和光、愛の家練馬西大泉、さくらの園、新堀やすらぎ、せらび東久留米、ミモザ新座栄、ゆうゆ、ケアサポート新座、そよ風、等 地域特養・サ高住等からの受け入れ

**6 既存病棟の概要**（※有床診療所についても既存病床がある場合は準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
本館2階病棟	49床	急性期	15.2日	93.3%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	地域一般入院料1	
本館3階病棟	52床	急性期	23.6日	92.3%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	地域一般入院料1	
2号館2階病棟	46床	急性期	27.2日	89.8%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	地域一般入院料1	
2号館3階病棟	4床	回復期	22.7日	93.3%

	一般／療養	入院基本料・特定入院料	地域一般入院料 1
<b>診療科</b>			
内科、胃腸内科、神経内科、内科（循環器）、外科、整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科、こう門科			
<b>診療実績 ※平成 29 年度</b>			
○平均外来患者数 524 人/日、平均入床数 169 床/日			
○手術 609 件（消化器外科、整形外科、形成外科、口腔外科他）			
○人工透析（外来・入院）1,763 件/日。			
○救急車受入台数 2,349 台（内時間外〈平日 18～8 時・土日祝日全日〉1,424 台）			

## 7 医療（介護）連携における課題、問題点

- 退院に際し、患者の病状が従前より悪化しているとして元居た施設受入れ・自宅への復帰に難色を示される場合が多い事（一定の制約・条件の中での受入の理解が得られ難い）
  - ・施設では ADL 悪化すると受入拒否される場合が見られる。
  - ・自宅の場合、病院を退院するという事で自立度への過度な期待がある場合がある。
- 大学病院等の高度急性期からの転院してきた場合に、高度急性期と同程度の看護を期待するむきがある。
- 医療機関・施設・家族との連携強化による情報（患者の特徴・病状・家族のニーズ）の共有が必須となる。
  - とりわけ在宅診療に移行の場合患者家族は、過大な負担を想定してしまう場合が多く（実際大変なもの事実）『やるべきことはやる』の意識と『できる範囲で行う』、『難しい事出来ないことは任せる』との意識を持ってもらう事が肝要。

平成 31 年度病床機能転換予定病院報告資料

1 病院名：社会医療法人社団 堀ノ内病院

2 所在地：埼玉県新座市堀ノ内 2-9-31

3 病床機能転換概要

転換前病床 機能区分	転換病床数（床）		整備事業 内容	整備事業 開始（着工） 予定年月	整備事業 完了（竣工） 予定年月
	地域包括 ケア	回復期リハ			
急性期	4床	—	設備整備	平成 31 年 7 月	平成 31 年 7 月

※転換前病床機能区分は「急性期」「慢性期」等該当するものを記載。

※整備事業内容は「新築」「増改築」「改修」「設備整備」の該当するものを記載。

4 整備方針、目標

○地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能

□当院は、地域医療構想踏まえて当院での医療介護体制の構築を図っている。

◇地域包括ケア病床の拡大と充実（在宅復帰の推進）

- ・容体の安定した患者を一般病床から受入して在宅へ復帰の促進を図る。
- ・地域施設連携・在宅移行に伴うフォロー対応として地域包括ケア病床を活用。

◇訪問診療拡充と訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所との連携強化（在宅復帰後の医療介護の充実）。

5 転換後の見込み

届出予定基本診療料施設基準 地域包括ケア入院医療管理料 1	算定開始予定年月 平成 31 年 7 月
<p>患者の受入見込み</p> <p>見込人数 470 人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当病院内から年間 345 人（73%）</li> <li>※他病院施設から一旦急性期病床で受入する人数 150 人を含む。 訪問診療から一旦急性期病床で受入する人数 40 名も含む。</li> <li>・自宅から年間 35 人（7%）</li> <li>※内訪問診療 20 人</li> <li>・施設等から年間 60 人（13%）</li> <li>・他の病院から 30 人（7%）</li> </ul>	

### 医療（介護）連携見込み

（※具体的に記入すること。）

●紹介元・紹介先：○病院 国立国際医療研究センター病院、東京病院、東京警察病院、東京大学病院、東京都健康長寿医療センター、東京山手メディカルセンター、練馬光が丘病院、武蔵野総合クリニック、多摩総合医療センター、TMG あさか医療センター、菅野病院、和光病院、等 地域内クリニック病院等

○施設 特養：チェリーヒルズ新座、こぐれの里、シャローム東久留米、清雅苑、千寿里、練馬さくらの杜、ひばりヶ丘ふれあいの里、やすらぎミラージュ、よつばあたご苑、等 他：アシステッドリビング練馬、あすなろ大泉学園、ウェルケアテラス新座、紀水苑、グランダ、高齢者ホームあすなろ、志木ナーシングホーム、ニチイホーム、未来倶楽部大泉学園、めいと新座志木、リアンレヴ大泉学園、フローラ菜の花、メディカルホームふじみ野、リーシェガーデン和光、愛の家練馬西大泉、さくらの園、新堀やすらぎ、せらび東久留米、ミモザ新座栄、ゆうゆ、ケアサポート新座、そよ風、等 地域特養・サ高住等

※届出予定基本診療料施設基準は「地域包括ケア病棟入院料1」「地域包括ケア病棟入院医療管理料1」等該当するものを記載。